

■ 全体講評

プロジェクトマネージャの午後 I 試験は、記述式 3 問出題のうち 2 問を選択解答します。問 1 は金融機関でのデジタルトランスフォーメーション推進プロジェクト立上げの問題、問 2 は保険会社のシステム統合でのリスクマネジメントについての問題、問 3 は製造業の生産管理システムの再構築に伴う調達マネジメントに関する問題でした。このように、様々な業種やテーマについてのプロジェクトマネジメントの問題が出題されています。自分の経験や知識を生かせるテーマを選んで解答することが大事ですが、ドメイン知識の有無は解答にそれほど影響なく、問題文に従って考えて解答することが可能です。あまり分野やドメインにこだわらずに、解答しやすい問題を選んでください。

試験では、問題を確認して即座に各問題で解答のしやすさや難易度を推定し、どの問題を選択するか適切な判断が求められます。長文となる問題文を読んで、すぐに設問に答えなければならないので、時間が足りなくなりがちです。短時間で解答しやすい問題を選ぶのも、能力の一つになります。設問をよく読んで「何が要求されているか」をすばやく理解することが重要です。そのためには、いきなり問題文を読むのではなく、まず設問から読むことが有効です。設問を読みながらポイントとなるところにアンダーラインを引いて、設問内容を意識しながら問題文を読むことが重要です。

また、出題者の意図をよく考えて解答することも重要です。設問で何が問われているかを必ず確認し、ポイントになる内容を分かりやすく記述することです。今回の公開模試でも、設問で問われていないことを答えているものが多く見られました。出題者の意図をよく踏まえて適切に解答していくことを心がけてください。特に、自分の経験を基に考えてしまい、問題文の脈絡と関係のない解答になることは絶対に避けるようにしましょう。

試験当日は、集中力、精神力、体力の勝負になるので、最後まで粘ってあきらめずに、必ず合格するという強い意識をもって臨むようにしましょう。

問1 デジタルトランスフォーメーション推進プロジェクトの立上げ

【採点基準】

[設問1]

解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば各 7 点。

[設問2]

解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば各 7 点。

[設問3]

- (1)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 8 点。
- (2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 7 点。
- (3)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 7 点。

【講評】

金融機関でのデジタルトランスフォーメーション推進プロジェクトの事例です。新たな IT 活用によるサービス創出という、必然性のあるシチュエーションで典型的なプロジェクトの立ち上げ内容を問う問題で、比較的取り組みやすかったと推測されます。プロジェクトマネジメントが問われていて、ドメインの知識には依存せず取り組みやすいのですが、解答要点が散漫になりやすく注意が必要です。

設問 1. では、

メンバの疑問の解消、協力体制の確立につながる「全社方針」としての認可の周知が解答のキーとなりますが、曖昧な情緒的表現にならないよう注意が必要です。理由という表現としては、「ため」や「から」という語尾が望ましく、この点に不備がある解答が散見されています。論理的に正しく解答してほしいところです。

設問 2. では、

(1)はステークホルダから漏れた人の行動に着目して考えます。この対象の人を明確にして解答することが求められます。この立場の人からの要求がマターとなることを押さえて解答して、正解です。この点が不十分な解答が多かったです。(2)は「W 部門長」を明記して説明する必要があります。この点が甘い場合、半分の得点です。

設問 3. では、

解答要点を押さえた解答は正解にしましたが、要点の不足や表現が甘い解答は半分の得点にしました。

問2 リスク管理

【採点基準】

[設問1]

- (1)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 9 点。
- (2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 8 点。

[設問2]

- (1)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 9 点。
- (2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば 8 点。

(3)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば8点。

【設問3】

解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば8点。

【講評】

プロジェクトでのリスクマネジメントに関する問題です。保険会社のシステム統合を題材にして、プロジェクトにまつわるリスクについて問われています。問題文をしっかりと読んで、解答要点をしっかりと押さえれば高得点が期待できる問題です。

設問1. では、

(1)は「事前にかつ個別に」という観点がキーとなります。(2)は「スマートフォン利用での情報漏えい」という観点がキーとなります。問題文の記述からこれらの点をとらえ解答する必要があります。適切にキーワードを押さえた解答を正解としています。完全に押さえられた解答は少なかったです。

設問2. では、

(1)は「スケジュール遅延」まで踏み込んだ解答が望ましいです。(2)は「課題」でなく「問題」の記述が目立ちました。「課題」は現状の悪いことではなく、これからすべきことです。表現に注意しましょう。(3)は実際の成果物を現物で確認することを明記してほしかったです。適切な解答表現は少なかったです。

設問3. では、

「システム統合テストの観点不足」が解答のキーとなります。この点を明記することが大切です。比較的出来は良かったですが、解答表現が甘い場合、得点を半分にしました。

問題の誤りのお詫び

問2 問題文中に誤りがあり、誠に申し訳ございませんでした。

今後、再発防止策を講じ、より一層、慎重に公開模試制作を行ってまいります。

問3 プロジェクトの調達管理

【採点基準】

【設問1】

(1)意義:解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば5点。文書化の目的:解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば5点。

(2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば8点。

【設問2】

a:解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば4点。
作業の内容:解答例の趣旨に沿って適切な解答であ

れば6点。

【設問3】

(1)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば5点。

(2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば5点。

【設問4】

(1)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば6点。

(2)解答例の趣旨に沿って適切な解答であれば6点。

【講評】

プロジェクトの調達管理の問題です。問題文の記述をしっかりとらえ、適切に分析した上で、問題を解決するポイントを探り解答する必要があります。比較的取り組みやすい問題ですが、再委託の脈絡を理解し取り組まなければなりません。キーワードを押さえきれず何となく解答してしまうと得点が伸びません。注意深く取り組む必要がありました。

設問1. では、

(1)問題文の記述から「客観的に評価」という要点が抽出できます。正しく押さえて正解で、これが甘いと半分の得点にしました。

(2)問題文の記述から「ユーザインタフェースの機能」が重視されていることが認識できます。このことを押さえて正解にしました。

設問2. では、

工程の記述を基に空欄aは「プロトタイプ」が適切な解答の筋と判断できます。作業の内容は、開発スケジュール面のリスクを考慮し「通信インタフェース機能」を押さえることができます。

設問3. では、

(1)状況説明で、管理の実力を評価した旨が見つかりますので、それをとらえて解答します。何となく一般論で解答しないよう注意しましょう。

(2)問題文の文脈から「管理負荷」が高まるリスク要因が抽出できます。キーワードをしっかりと押さえましょう。

設問4. では、

(1)欠陥数の報告がなされていないことに気が付けば解答を導けます。記述されている表現を押さえましょう。

(2)定性的な分析、欠陥の原因分析が必要であることをきっちり抑えたいです。完了した工程だけでなく前工程も含めて分析することが望ましいです。要点の定まらない散漫な解答表現が目立つので注意しましょう。

全体として、解答すべき要点を理解できても解答表現

が拙く失点することに注意しましょう。問題文の記述や重要なキーワードについては敏感にとらえて解答するよう心がけてください。

以上

●
●
●
iTEC